

信頼度NO.1のがん実用誌!

がんサポート

創刊7周年 記念号

11

2010 Vol.91
定価 1,200円

消化器がん& 副作用対策特集

食道がんの治療最新事情
食道がんの術前化学療法
大腸がん薬物療法副作用対策
術後の腸閉塞を防ぐ
成分栄養剤の新しい効果

副作用対策座談会
血管痛とその対策をめぐって

加瀬邦彦
食道がんを乗り越え、
団塊の世代を元気づける

山崎多賀子の
生きる力が湧く「キレイ塾」

ホームページ <http://www.evidence-inc.jp>
がんサポート情報センター <http://www.gsic.jp/>

4

腸閉塞対策

手術後の癒着防止剤や腸閉塞を防ぐ薬が登場、患者さん自身の食生活の改善も肝心
この対策で減らせる

胃がんや大腸がんの外科療法では、開腹手術の後遺症として腸閉塞（イレウス）に悩まされる人が少なくありません。中には再手術を余儀なくされる人もいて、術後の腸閉塞対策は、患者さんのQOL（生活の質）向上に欠かせないものとなっています。最近では腸閉塞の予防に役立つ癒着防止剤や薬も普及しています。

監修 ● 船橋公彦 東京大学医療センター大森病院消化器センター外科准教授
取材 ● 町口 充

術後数年してから起ることも

「腸閉塞（イレウス）」とは、腸管の通過障害の状態を示し、消化管の内容物が滞って、腹部膨満、腹痛、嘔吐などの症状が出てくる状態をいいます。開腹手術後には、腸管が癒着して腸閉塞になりやすい状態となります。中には、腸捻転（腸のねじれ）などで腸管に血流障害が起こって腸管が壊死し、緊急手術が必要になることもあります。

外科准教授の船橋公彦さん。術後の腸管の癒着、腫瘍の再発や転移といった器質的変化によって起こる腸閉塞を「機械的腸閉塞」、器質的原因はないが腸の動き（機能）が悪くなって起こる腸閉塞を「機能的（麻痺性）腸閉塞」と呼びます（図1参照）。術後の腸閉塞で最も多い原因は腸管の癒着による機械的腸閉塞。しかし、機能的腸閉塞も昔無ではありません。たとえば、脳や脊髄など腸の動きをつかさどる神経が手術や外傷などによってダメージを受けると、腸の蠕動運動が低下したり、

手術の合併症 手1つである腸閉塞

胃がんや大腸がんなど消化器がんの術後には、病气や手術の種類、手術部位や広さ、患者さんの体質によっても異なります。



東京大学医療センター大森病院消化器センター外科准教授の船橋公彦さん

「癒着の主な原因は、手術による癒着が生じます。なぜ手術をすると癒着が起こりやすいのでしょうか？」
「癒着の主な原因は、手術による癒着が生じます。なぜ手術をすると癒着が起こりやすいのでしょうか？」
「癒着の主な原因は、手術による癒着が生じます。なぜ手術をすると癒着が起こりやすいのでしょうか？」

*癒着＝体の動きを乱すような外部からの刺激